

薬剤師募集中

薬剤師さんをご紹介ください。

薬剤師も地域へ、在宅医療を旺盛に展開

青葉調剤薬局
中野区中野5-47-10
03-3389-7110



健康づくり 生きがいづくり 友だちづくり まちづくり

友の会だより

中野共立健康友の会・広報委員会発行
〒164-0001 中野区中野5-45-4

Eメール: ken_sosiki@kenyu-kai.kai.or.jp
Tel: 03-3386-9139

友の会は、地域医療を支える健友会を応援し、健康・生きがい・友だちづくりを目指しています。再開したサークルや企画の一部を紹介します。お友達を誘って、一緒に交流しませんか。新しい会員、大歓迎です。



10月のウォーキングでは、昭和記念公園を散策してきました。、おいしい空気を吸って楽しく交流してきました。



朗読サークルは先生の指導の下、きちんとした発声で朗読するのでとても健康的です。毎月第1、4木曜日14:00~



11月に診療所受付横にて、友の会入会へお誘いを行いました。



フラダンスサークル毎月第1、3月曜日14:00~活動してます。見学お待ちしております。



卓球サークル 毎月第1、3月曜日10:00~活動してます。見学お待ちしております。

地域に広げよう健康の輪

「仲間増やし月間」にご協力ください

中野共立健康友の会会長 植木紘二

中野共立健康友の会では、一〇月から一二月まで、「仲間増やし月間」として会員さんを増やす取り組みを行っています。これまでコロナの中で活動を中止せざるを得ない時期がありましたが、健康チェックや健康講座、サークル、ウォーキングなど健康や生きがいにつながる活動を再開し始めました。友の会の仲間を増やし、病院・診療所とともに、楽しく、健康づくり、住みよいまちづくりをご一緒に広げましょう。入会していただくと、毎月ご自宅に「友の会だより」をお届けします。ご近所、お知り合いに、ぜひ、共立健康友の会をお勧めください。



○インフルエンザ予防接種は3300円のところ友の会会員特別価格2800円で受けられます。

(65歳以上の方は 予診票がある場合があります)

- 人間ドック5%割引
- 初回歯科検診無料
- 経済的に困難な方には、無料低額診療を扱っています。
- 入会時に入会金500円が必要ですがその後のご負担はありません。

友の会だより10月号「おたのしみパズル」

●正解・・・きょうかい

応募 38通中、正解者 35通でした。

抽選で5名の方に図書カードを贈呈致しました。

★おめでとうございます★(^▽^)/

「今日のはなんだか難しい、マイナンバーカードのお話です。」

英語で聞こえのいいマイナンバーですが、国民全員が個人番号をふられる制度です。国の方針で、2023年4月からマイナンバーカードを利用した保険資格確認が、実質義務化され...

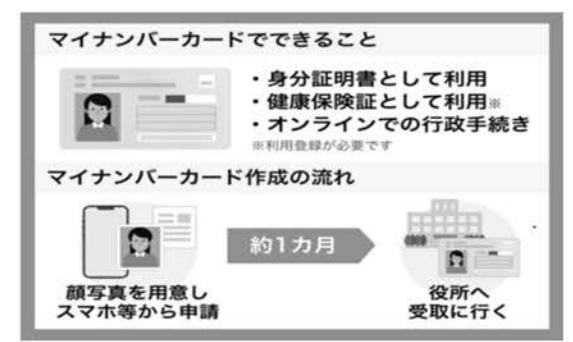
資格確認できる仕組みを(情報を電子カルテにつなぐ、顔認証できる機器を購入など)2023年4月開始に向けて、準備をしようとするところです。

なんだか...ですよね)もう一つ大事なことで、【今加入されている保険証もいまままで通りちゃんと使えます】。ただ、こちらも国の方針で、2024年10月に保険証の廃止が発表されています。

ないこの仕組みへの反対の声は上げ続けていく所存です。何より、この制度で皆保険制度が崩れないのか懸念しています。

(塚本 由美子)

マイナンバーカードでできること
・身分証明書として利用
・健康保険証として利用
・オンラインでの行政手続き
マイナンバーカード作成の流れ
約1カ月
顔写真を用いしスマホ等から申請
役所へ受取に行く



私たちの仲間



「チャップリン・モダンタイムス」

友の会映画委員会 山田 几平

去る10月14日(金)映画委員会はチャップリンの「モダン・タイムス」を上映しました。

プリンの先見性について話しました。1936年(昭和11年)に、「モダン・タイムス」は生まれました。

場内と、社長室に近づいている。労働者を監視する為にあった。社長の顔アップで画面に出てくる「もっと スピードを上げろ」「もっと スピードを上げろ」と怒鳴ります。

友の会映画委員会は、月一回会合を開いて、皆様のご意見を聞いた後、上映する映画を決めたりしています。

上映する前に、パンフレットに載っている映画評論家の故淀川長治さんの言葉も混ぜながらチャップリンの先見性について話しました。

この頃、テレビはまだ研究中でした。そのテレビがこの映画に出てくる。どこに? 実は、工場、86年後の現在

この後「独裁者」というナチスドイツのヒットラーを戯画化した映画が生まれます。



「介護保険制度」の改定で新たな困難が

介護福祉事業部長 大出 珠江

2000年から始まった介護保険制度ですが、必要なサービスを利用できない実態が広がっています。政府は2023年通常国会に向けての見直しの検討を進めています。

歩行器・杖などの福祉用具のレンタルから購入になります。施設の人員配置基準をセンサーなどの機械の導入を条件に、利用者3人に職員1人だったのを、4人に1人に切り下げられます。

状態の変化に対応して福祉用具を変更したり、他の介護サービスを追加したりすることができているが、もしも購入になると、ケアプランは必要なく、ケアマネジャーに頼れなくなりま



中野駅北口で改善の署名

改悪されると、経済的理由で、利用者が介護サービスの利用を控え、家族の負担が増えます。利用者本人の日常生活動作の低下、介護サービスの質の低下など、ますます介護が本当に必要な人が必要サービスを受けることができなくなっていくと予想されます。

友の会の皆様、ぜひ「介護保険制度の改善を求める請願署名」へのご協力をお願いします。

現在、ケアマネジャーが立てる「ケアプラン料」は全額介護保険から給付されるものを、利用者負担の有料化になります。

例えば、現在、福祉用具だけレンタルしている人もケアマネジャーがケアプランを立て



介護保険の改善の署名用紙